

山行報告書

日時	2014年12月7日(日)		
山名	県連登山学校 グループH 野北 冬山(クランボン・ボッカ)実践講習		
CL	木下(県連)	参加者	高野、花田、阿部 (3名)
(コース)	<p>集合 8:00 説明 8:00-9:15 装備の説明と確認 出発 9:18 海岸 9:35-9:48 ワン・スノーシュー着脱・歩行練習・クランボン装着 岩場 9:50-12:10 クランボンでのクライミング・懸垂下降・トラバース 12:10-15:40 雪山シューズでのクライミング・懸垂下降・トラバース 駐車場 15:40 各人の感想・反省 終了 16:00</p> <p>雪山ビバーク装備を担いでのクライミング練習を講師1名+受講生2名程度のグループ編成による実践講習を糸島市志摩の野北海岸の岩場にて行いました。今回歩行したのは全ルートの半分くらいだそうで、岩は脆く落石が起きやすいですが福岡近郊での良い練習場</p> <p>野北での実践講習は、アップダウンがありました。全体的には自分なりに安全第一を考えながらスムーズに処理ができたと思います。ただ、まだ先の読みが浅く、もう少し場面にあった対処ができるよう、また、意思疎通の方法では波の音でかけ声が消されてしまうことは、想定していなかった。事前に決めておけばよかったと思いました。クライミング、懸垂下降、トラバース等いろいろなシチュエーションでのロープワーク、ビレイ等勉強になりました。(高野 記)</p> <p>野北の岩場で二番手となりトップのビレイ時に、トップとの距離や波の音などで意志疎通ができなくなりましたが、講師より思い込みや・・・だろうの判断は事故に繋がる可能性があることを現場にて教わりました。(花田 記)</p> <p>クライミングでの各種ギアの装着やロープワークに不安を抱えての講習でしたが、講師とベテランの受講生がリーダーとなり3人でのチーム編成であったため、質問点や適切な操作方法等について丁寧に教えて頂くことができ、大変充実した講習となりました。反省点としては、雪山装備のグローブを付けたままでの着脱に時間がかかりすぎたこと、装備品のザックへの取付方法・ジャケットのファスナーの開閉等、手間取らない様にひと工夫検討する必要性を感じました。蒜山雪山講習までには、スノーシューやクランボンの着脱をスピーディーにできるように事前訓練して臨みたいと思います。(阿部(哲) 記)</p>		
費用概算 (交通費)	交通費 ¥500 / 人		

